

平成30年度

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

活動報告書

平成31年4月15日

一般社団法人チャンス

目次

①活動経緯	1
②現状と課題	2
③ストップ！！ 性犯罪講演会	3
講演会終了後アンケート集計	5
④ネットワーク構築	9
第1回ネットワーク会議～第8回ネットワーク会議	9
S O P H I A 中部発足	25
⑤S O M E C 主催の家族支援セミナートレーニング受講	26
⑥家族応援セミナー 案内	31

①活動経緯

実施日	活動内容	実施日	活動内容
2018.04.25	ストップ！！性犯罪講演会	2019.01.04	第10回トレーニング修了者による企画会議
	第1回ネットワーク会議	2019.01.07	第6回ネットワーク会議
2018.06.15	第2回ネットワーク会議		SOME C有料スカイプによるフォローアップ2回目
		2019.01.11	第11回トレーニング修了者による企画会議
2018.09.18	SOME C主催の家族支援セミナートレーニング受講1回目	2019.01.18	第12回トレーニング修了者による企画会議
2018.09.24	SOME C主催の家族支援セミナートレーニング受講2回目	2019.01.22	第13回トレーニング修了者による企画会議
2018.09.25	SOME C主催の家族支援セミナートレーニング受講3回目	2019.01.25	第14回トレーニング修了者による企画会議
2018.10.04	第3回ネットワーク会議	2019.02.01	第15回トレーニング修了者による企画会議
	『SOPHIA』中部発足	2019.02.04	第7回ネットワーク会議
			SOME C有料スカイプによるフォローアップ3回目
2018.11.05	第4回ネットワーク会議	2019.02.08	第16回トレーニング修了者による企画会議
	第1回トレーニング修了者による企画会議	2019.02.15	第17回トレーニング修了者による企画会議
2018.11.09	第2回トレーニング修了者による企画会議	2019.02.22	第18回トレーニング修了者による企画会議
2018.11.16	第3回トレーニング修了者による企画会議		
2018.11.23	第4回トレーニング修了者による企画会議	2019.03.01	第19回トレーニング修了者による企画会議
2018.11.30	第5回トレーニング修了者による企画会議	2019.03.04	第8回ネットワーク会議
			SOME C有料スカイプによるフォローアップ4回目
2018.12.03	第5回ネットワーク会議	2019.03.08	第20回トレーニング修了者による企画会議
2018.12.04	SOME C有料スカイプによるフォローアップ1回目	2019.03.15	第21回トレーニング修了者による企画会議
2018.12.07	第6回トレーニング修了者による企画会議	2019.03.22	第22回トレーニング修了者による企画会議
2018.12.14	第7回トレーニング修了者による企画会議	2019.03.29	第23回トレーニング修了者による企画会議
2018.12.21	第8回トレーニング修了者による企画会議		
2018.12.28	第9回トレーニング修了者による企画会議		

②現状と課題

医療現場、放課後等デイサービス事業所において、発達障害、知的障害のある子ども達に関わっている。人との心地よい距離感、人権教育、性教育、社会のルールなどについてはレクチャーをし、かつ実際起きた現場において元警察官を交えて指導をしているものの、万引き、窃盗、性的逸脱行為（卑猥なことば、不適切な接触など）をなくすことに日々困難を感じている。

性暴力の被害・加害に対してどのようにしたらよいのであろうか？

一方で、“性犯罪者を刑務所に入れても解決しない”ものの、有効な性犯罪更生プログラムが無い為に、再犯者が後を絶たない現実がある。

性犯罪更生プログラムを受けて、加害者が被害者に心から謝罪することがあってはじめてこの様な事案は終結できると考える。

発達障害、知的障害のある子ども達を健康な社会人に育成するには、彼らの認知の特性を加味した性犯罪予防プログラムが必要である。

中部地区において、加害者支援（治療、家族支援、予防）実施施設がない現実がある。そこで性犯罪加害者治療において成果を上げているSOMEKから再犯予防に効果がある家族支援セミナートレーニングを受講し、予防プログラム（加害者家族支援・啓発活動）実施、再犯防止ネットワーク構築を企画した。本企画を実現することにより、性暴力の被害者も、加害者もない誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指したいと考えた。

ストップ！！性犯罪 講演会

～性暴力加害者も被害者も傍観者もない社会を実現するために～

性暴力被害者および加害者支援にかかわる方々
もしくは目指している方々どなたも歓迎します。

第1弾：講演会

講師：福井裕輝氏 — 性障害専門医療センター(SOMEK)代表理事 精神科医
(SOMEKのご紹介、福井裕輝医師のご紹介は裏面をご覧ください)

内容：※性犯罪加害者はどういうひとなのか？
※性犯罪加害者は、更生プログラムを受けて回復することができるのか？

日時：平成30年4月25日(水曜日)
14時00分～16時00分 講演
16時15分～17時15分 質疑応答

会場：一般社団法人チャンス(名古屋市千種区今池5丁目3-2 GS今池ビル9F)

費用：500円

第2弾：SOMEK名古屋(仮称)第1回ネットワーク会議

日時：同日 講演会終了後
17時30分～18時30分

議題：開設に向けて実施者(臨床心理士)の募集、実施場所の選定。
性暴力予防プログラム開発・実施に向けて話し合い、情報交換。

会場：同会場

主催：一般社団法人チャンス

共催：NPO法人 CAPセンター・JAPAN

CAPみえ、エンパワメントみえ

人権ワークショップグループあるふぁ、一般社団法人チャレンジ

お問合せ：052-734-7704(一般社団法人チャンス事務所)
(10時30分～17時00分/水・日・祝休み)

③ストップ！！性犯罪講習会チラシ

～SOMECのご紹介～

SOMEC開設の経緯

性暴力被害者の診療に携わる中で、加害者への治療、司法と医療の連携の重要性を痛感し、2010年NPO性犯罪加害者の処遇制度を考える会 性障害専門医療センター(SOMEC)設立。東京、大阪、福岡にて性障害治療に取り組む。

治療法について

認知行動療法(CBT) 治療者と患者が共同で行う比較的短期集中型の心理療法
「認知=物事の捉え方や思考」と「行動」に焦点を当て、徐々に自分自身のことや自身の抱える問題を理解していき、対処法や解決法を一緒に探っていく。
自分自身の認知や考え方の癖に気づき、不適切なものは修正し、柔軟な考え方ができるようになることを目指す。

治療効果

活動8年目、これまでに2000人余りの患者さん、ご家族の方々の診療にあたる。
現在約70人の患者さんを数人の心理士と共に診療。
これまで再犯はゼロ。

福井裕輝医師のご紹介

犯罪精神医学研究機構 代表

専攻分野:司法精神医学、神経科学

京都大学医学部附属病院精神科、法務省京都医療少年院、厚生労働省国立精神・神経センターなどを経て現職。

内閣府性犯罪被害者支援に関する検討委員会委員

大阪府青少年健全育成審議会委員

京都大学医学部精神科非常勤講師

著書:「私の処方」「子どもの攻撃性と破壊的行動障害」

「ストーカー病—ゆがんだ妄想の暴走は止まらない—」など

一般社団法人チャンス

相互の尊敬と思いやりの心を指針とし、たゆまぬ実践と研究に取り組むことにより、共生社会の実現を目指し以下の事業を実施。

①子育て支援事業

- ・子育て支援拠点事業、いこいの家事業
- ・地域の子ども応援事業(子育て支援の新たな担い手養成事業)

②学習支援事業

- ・名古屋市中学生の学習支援事業(中川区・千種区・名東区)
- ・児童養護施設の子ども達への学習支援事業(2施設)

③ストップ！！性犯罪講習会-1

講師

特定非営利活動法人 性犯罪加害者の処遇制度を考える会
性障害専門医療センター
代表理事 福井裕輝氏

講習プログラム

①. 性犯罪の病理

- (ア) 凶悪犯罪と脳
- (イ) 脳の責任部位
 - ① 視床下部
 - ② 扁桃体
 - ③ 前頭葉
- (ウ) 小児性愛概論
- (エ) 発達障害と犯罪
- (オ) セクスティング概論

②. 性犯罪処遇の現状と課題

- (ア) 海外の状況紹介
 - ① オーストラリア
 - ② イギリス
 - ③ 韓国
- (イ) 海外の処遇状況
- (ウ) 日本の処遇状況
- (エ) 認知行動療法・弁証法的行動療法
- (オ) Somecでの活動

③. 行政と医療の連携

④. 最良の刑事政策とは最良の社会政策である

③ストップ！！性犯罪講習会-2

第1弾：福井裕輝氏 講演会

平成30年4月25日



加害者支援、被害者支援、子ども・若者支援、行政関係、保護司・・・
幅広い方々約50名のご参加をいただき、熱心にお聴きしました。

③講演会終了後アンケート集計-1

1. あなたの日頃の活動についてお聞きします。

★回答人数

- 加害者支援 2名 被害者支援 11名 福祉関係者 2名 ご家族(加害、被害) 0名
その他(発達障害児支援 2名、医療従事者(助産師)、性教育活動をしている者、看護師教育、教育(高校)、DV・女性相談 2名、子育て支援 2名 子どもへの暴力防止活動等) 計13名

2. 講演会に参加したことで、性加害者へのとらえ方に変化がありましたか？

★回答人数

- あった 18名 少しあった 7名 全く変わらない 1名 回答なし 1名

★理由回答《自由記述》

あった

- ・脳の問題ということ、薬で治療できることを知らなかったからです
- ・脳の話が興味深かったです
- ・有効な治療があること、そのことで再犯を防げること
- ・脳障害が多いこと
- ・脳へのダメージにするものであることが明確にされていることに驚いた
- ・治療できるものなら、治療を受ける道筋をつけてあげてほしい
- ・日頃から感じていますが、教育が非常に大切だと思います 交互作用で親の育てにくさの軽減、教育の場での発達障害がしっかりとなされれば、犯罪を減らすことができるのではないのでしょうか
- ・病理について大いに参考になりました もっと教えていただきたい内容いっぱい残念でした
- ・前頭葉にトラブルがあり犯罪につながるケースがある事を初めて知りました
- ・性犯罪者との共生 脳との関係がある程度理解できたこと
- ・脳機能障害という医学的なアプローチでしか対応できない点もあるということ
- ・実は顕在化されていない「問題ある人」がいるということ
- ・DVストーカー、痴漢など性犯罪と別のもものととらえる必要に気付いた
- ・治ることを知り、考えが変化しました。
- ・最後のQAがじっくりきました。(性犯罪者とDV加害者の治療について)
- ・脳の問題が関与していることが多い
- ・脳の障害としてお話頂けた点
- ・海外の事例
- ・脳の障害として性犯罪を問える視点が必要だということが分かった
- ・ホルモン療法等でよくなる事を知らない当事者や、まわりの方に周知されるとよいと思う。

③講演会終了後アンケート集計-2

少しあった

- ・脳の障害 遺伝性
- ・脳病理とその治療が有効である
- ・発達障害の問題が結構あると分かった
- ・刑罰より治療ができたらいいなと思いました
- ・脳の問題が非常に大きい事に驚きました
- ・病理が良くわかった。治療効果について良くわかった。→加害者を救えると思いました。
病気≡加害者≠社会悪
- ・性犯罪とストーカー、DVの治療の難しさについて別々のものと考えること
- ・病気だったら治療が必要 放置されているのは困る

全く変わらない

- ・回答なし
- ・私は教師から性被害を受けて今支援をしています。教員による事件は後を絶ちませんが、今、いろいろと調べていたので 加害者が良かれと思って性暴力に至っていることも納得できます。性依存、性逸脱についても関心があります

3. ストップ！！性犯罪に向けて、 ネットワーク会議に参加したいと思いますか？

★回答人数

- とてもそう思う 5名 そう思う 10名 そう思わない 6名 全くそう思わない 1名
回答なし 5名

★理由回答《自由記述》

とてもそう思う

- ・連携の大切さは常に思う
- ・個人的には参加希望ですが、行政の立場上参加できるか未知数です...
- ・被害者を減らすには加害者治療が重要だと思うから
- ・本日は参加が無理ですが、情報交換していきたいと思っています。
子どもの被害、家族内の被害は加害者は早 急な対応が必要です。
連携をとっていただけたらと思います。教員(スクールセクシャルハラスメント)の事件には教育への研修を必要だと思います。

③講演会終了後アンケート集計-3

そう思う

- ・ 福井先生もおっしゃっていましたが、連携が大切だと思ってます。
- ・ 日本が遅れていること、よくわかりました
- ・ 行政と医療の連携の困難さはコーディネートする繋ぎ手の考え方やモチベーションのあり方にあると思うからもっと一般人も広く取り込めると良いと思う。
- ・ 被害者の人権擁護と性犯罪の予防
- ・ 時間的に難しいところはあるかと思うが、「問題を起こさない仕組みづくり」の精神には共感する
- ・ 性犯罪そのものが少なくなるために連携はとても必要と考えています
- ・ 参加出来たらいいなと思います
- ・ 加害者にさせない取り組みも必須と存じます。

そう思わない

- ・ 今は被害者支援をしているのでー
- ・ その余力がありません
- ・ まだ早い段階
- ・ 活動の時間がとれないと思うので

全くそう思わない

- ・ とても勉強不足の為

③講演会終了後アンケート集計-4

4. 参加したことによる良い変化や、もっと良くするための提案などありましたら教えてください。

★理由回答《自由記述》

- ・健闘を祈ります。Fighting!!
- ・被害者支援と加害者支援についてお互いに理解していくことで新たな施策が見い出せるとよい
- ・新しい情報(正しい知識)を広めてほしい
- ・最新の知識を得ることで、社会の課題が見えてくるし、ここにも社会福祉士の活動の場があるのではないかと思います
- ・共生にむけての考え方への提言をもっと広くPRすると良いと思います
- ・子育て周産期(妊娠・出産)をめぐる女性のライフワークにも活かしてゆけると良いと思いました。
- ・「最良の社会政策」の必要性から意識ある人とつながっていきたい
- ・ある意味「タブー」な話題でも、ここまで深く学べたのはとても有意義だった。海外の研究・実践がかなり進んでいることを知った
- ・このような学習会を今後も開いてもらいたい
- ・性暴力禁止法を作ってほしい
- ・省庁連携が大切ですね
- ・日本では加害者に対する治療や関係機関の連携が遅れているので進むよう望みます。
- ・性犯罪者とストーカー、DVとは違うところもあることを知りましたが、そのことだけでもメディアで取り上げてほしいと思った
- ・犯罪をなくすことができるといいです。
- ・加害者治療をする男性心理士がもっと増える事も効果的なのかなという気も致します
- ・被害がなくなるには加害者の治療が必要です。被害にあわないようにというよりも、加害しないようにするにはどうしたらいいのか
- ・大変勉強になりました。本当に参加して良かったと思いました。大事なことは人が人を大切にすること。つながって支援できると良いと思いました
- ・名古屋市で性暴力・DV・虐待などのトラウマを抱える方の支援グループ「Thrive(スライヴ)」の〇〇と申します。
性暴力を受けた方、10代～70代まで当自助グループには参加され、家庭内や学校という場で被害を受け、20年～30年と言えなかったという方がおり、話を聞く程加害者治療が加害者の社会の受け皿が必要だと感じます。
性暴力を受けた子どもを持つ母親の会も開催しており、家庭内に被害者も加害者もいる状況を抱えています。
そのような家庭にあった支援を一緒に取り組んで頂けたらと思います。
「加害者を治療につなげて欲しい」という声は 多いです。
トラウマ治療の場も少なく、回復につなげたい被害者の方もいます。
分断せず連携をとり、被害者支援、加害者臨床両面から取り組むことが重要だと感じています。

④ネットワーク構築-1

第2弾 第1回ネットワーク会議

★開催日時
平成30年4月25日 17:30～18:30
★開催場所
名古屋市千種区今池5-3-2
★参加者
8名

- ・ 自己紹介
- ・ 講演会の感想
- ・ 性暴力予防プログラム開発と実施に向けて

子どもを加害者にも被害者にもしない支援が必要

非行少年の立ち直り支援を実施している

仮釈放で神経を使う事例は、性、薬物、いじめなどがある

児童養護施設における性暴力の実態調査が必要

未然防止に向けての取り組みをしてほしい

加害者支援、被害者支援、子ども・若者の健全育成などの

立場から、多様なご意見を伺いました

- ・ 開設に向けての実施者の募集

2名の心理士の方が手を挙げて下さいました。

④ネットワーク構築-2

第2回ネットワーク会議

★開催日時
平成30年6月15日 18:00～20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
8名

* 自立準備ホームの現場から

家族、本人への再犯防止プログラムが不足している。
何もしないままで、課題のある家族に帰してしまっている現実を何とかしたい

* 性犯罪加害者治療の現場から

少年院：3割...被虐待体験あり
3割...発達障害あり
9割...帰宅するが支援がないのが現状

* 当事者の視点から

原因への気づきができる→感情へのアクセスが可能となる→開放感、自己肯定感
→依存への必要性が減少する

《今後の方向性》

- ・みえダルクの手法から学べるものは大きい
＝先輩スタッフが楽しそう
＝依存を手放した後の先の見通しが必要
- ・3本柱＝対症療法（CBT）、グループミーティング、根本部分（過去のトラウマ）
- ・Eクリニックの手法への評価
- ・自費での治療は難しい。対応策は？
- ・警察との連携
- ・被害者支援団体との連携を図りたい
- ・家族セミナーを学んだあと、第3回ネットワーク会議を開くことにする。

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

第3回ネットワーク会議

★開催日時
平成30年10月4日 18:00～20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
8名

★目的

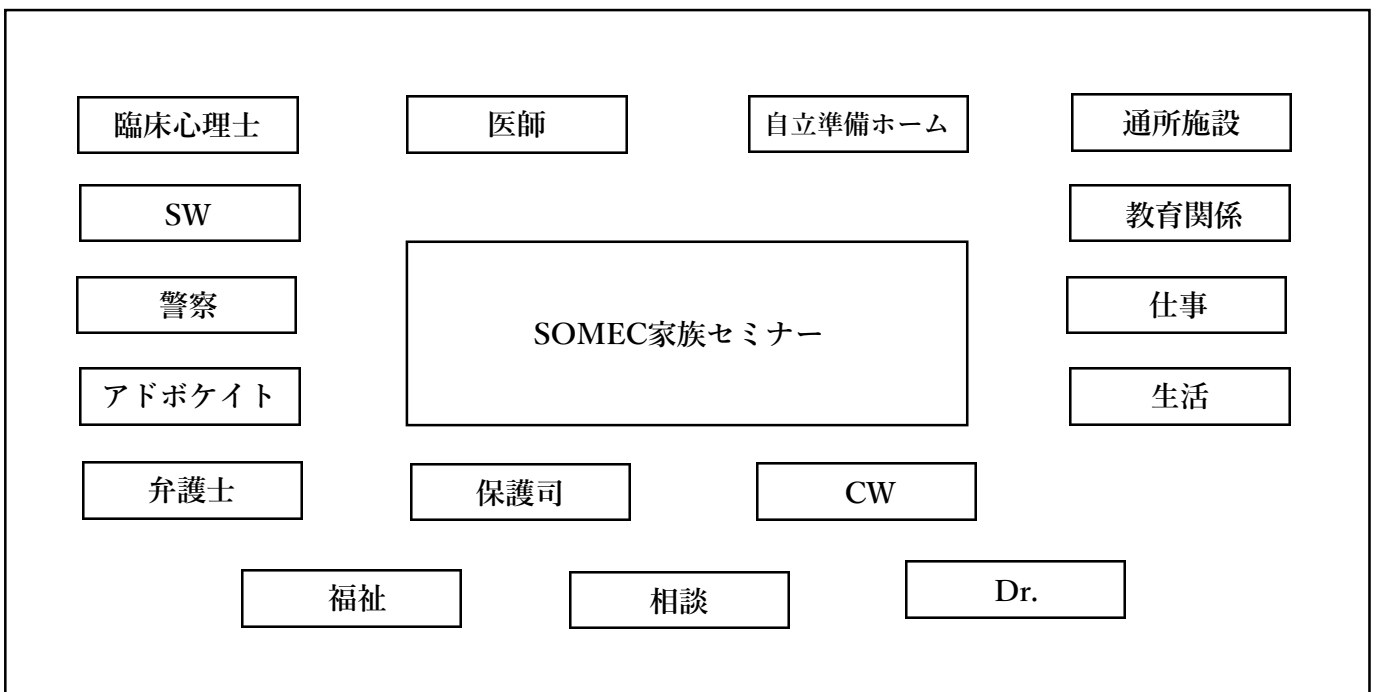
性犯罪加害者の再犯防止、加害者家族支援、啓発活動を実践するために支援のすそ野を広げ、固める。

多様なニーズに応えられるよう、ネットワークを構築する。

★方法

愛知、岐阜、三重、静岡で性犯罪加害者支援を実践している方と情報交換を行う事で実態を知る。

アンテナを高く立てて、実践につながる有効な再犯防止方法、加害者家族支援方法、啓発活動方法を学ぶ



第4回ネットワーク会議 1/6

★開催日時
平成30年11月5日 18:00～20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
8名

座学

1. 性依存症治療の現場から西野敏夫氏

(臨床心理士、カウンセリングオフィス「ひいりんぐ工房とぼす」主宰)
治療の現場からのお話を伺いました。

犯罪を犯し、刑を終えて社会に出るにあたり、支援が少ない現実がある。当事者にとって、ものすごく高いハードルを手薄な支援で超えることを要求されているとのこと。この問題を解決するには、個人の力では限界がある。支援のネットワークが必要である。家族支援も欠かせない。出口支援が必要である。

第4回ネットワーク会議 2/6

2018.11.5(月)18:00~20:00 於：彩樹丸の内(中区丸の内3-7-9 チサンマンション丸の内401)
ストップ!! 性犯罪 第4回ネットワーク会議

不毛な現状と今後の課題

~個人で関わることの限界~

カウンセリングオフィス ひいりんぐ工房 とぼす 西野敏夫

症例A
40代♂単身 露出、公然わいせつ、
執行猶予中に再逮捕、保釈、弁護士の
紹介にて来所、カウンセリング継続、
懲役2年半の実刑

弁護士、医師、保
護観察所、保護司、
家族の治療必要性
への認識が希薄。

症例B
40代♂妻子あり 盗撮、保釈中に
弁護士の紹介にて来所、カウンセ
リング継続、起訴猶予となり来な
くなる

症例C
30代♂妻あり、建造物侵入
(女子トイレに侵入)、保
釈、弁護士の紹介にて来
所、女子トイレにてサニタ
リーボックスから使用済
み生理用品を盗み出し自
慰行為を繰り返していた。
治療の必要性を伝えるが
初回のみで来なくなる。

矯正・更生という
枠にとらわれすぎ
る。

症例D
10代♂強制わいせつ、少年院
退院後、本人の希望にて来
所。自らの危うさを自覚、定
期的に来所すると述べてい
たが・・・

症例E
30代♂単身、離婚歴あり、傷害事件
執行猶予中の強姦致傷&未遂にて
懲役8年半の実刑で現在服役中。
弁護士の紹介にて今回逮捕時から
結審まで継続的に関わり、現在も定
期的に手紙のやり取りをしている。

罪に問われなけれ
ば問題ないという
認識が大。

症例F
20代♂、淫行、昔から家族ぐるみ
で交流のあった親の良人宅の中
学生女の子との性行為。女の子が親
に話して露呈。
弁護士の紹介にて来所、示談、不
起訴となり来所しなくなる

連絡が途絶える。

症例G
40代♂、窃盗、仮釈放中に再逮
捕、懲役3年半の実刑、一見ク
レプトマニアだが、下着の窃盗、
覗き、盗撮がある。
弁護士の紹介にて面会。

症例H
40代♂、大麻取締法違反、懲役
3年の実刑。
弁護士の紹介にて面会、逮捕事
案とは別に強制性交あり。

個人の意志や根性
や我慢や反省では
何ともならないこ
とへの理解がなさ
れない。

症例I
50代♂、露出、自慰、公然わい
せつ、統合失調症、通行人に通
報され逮捕されるが、嚴重注意
のうえ家族のもとに帰される。
医療保護入院

症例J
70代♂、抱き付き、強制わいせつ
通報にて逮捕、認知症、示談にて
不起訴、医療保護入院

問題に注目し過ぎることによ
る強化と反復という一面。

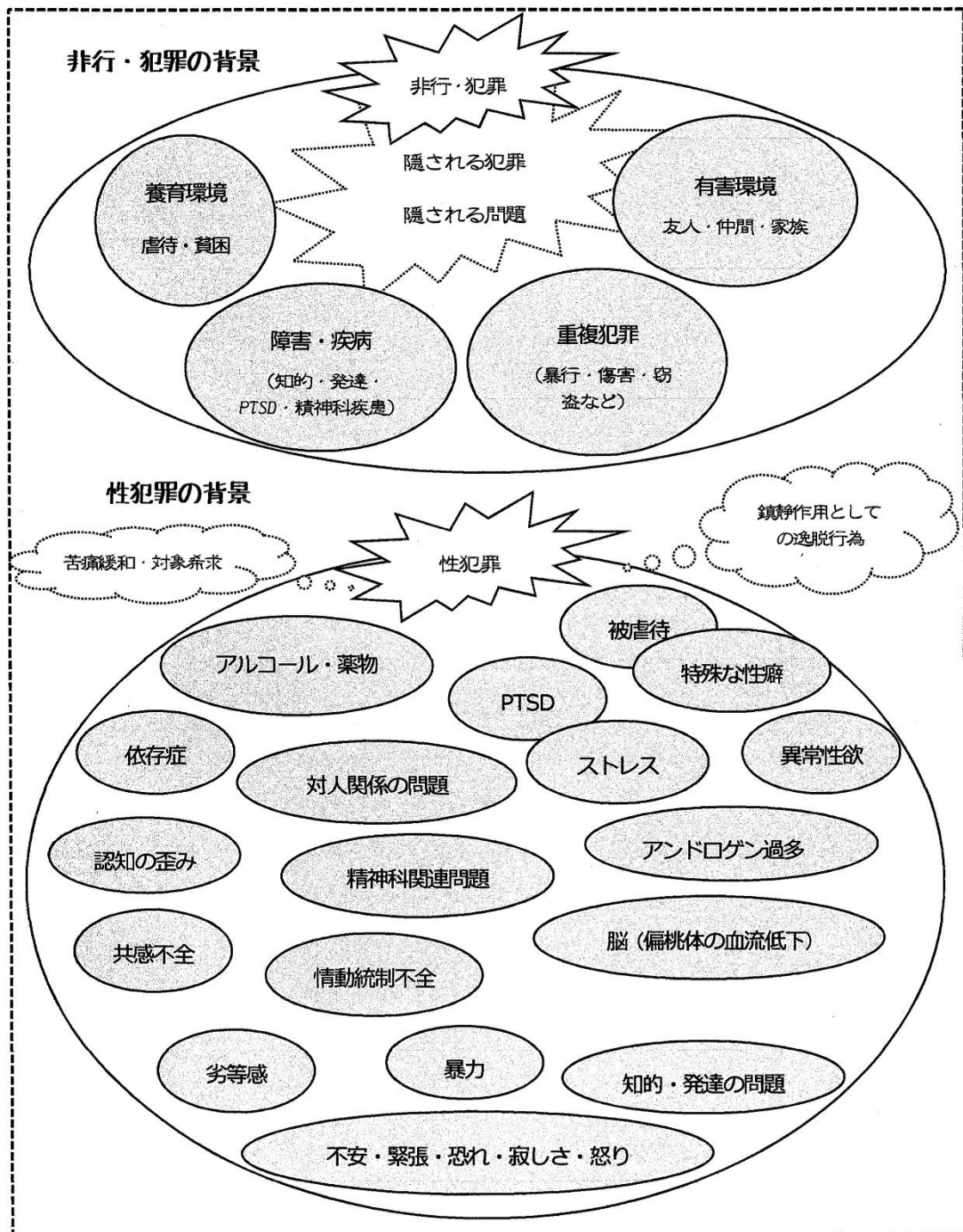
社会資源がなすすぎ。

問題がいくつも重複し、ほかの
問題に隠蔽されることがある。

社会復帰への壁が多すぎる。

第4回ネットワーク会議 3/6

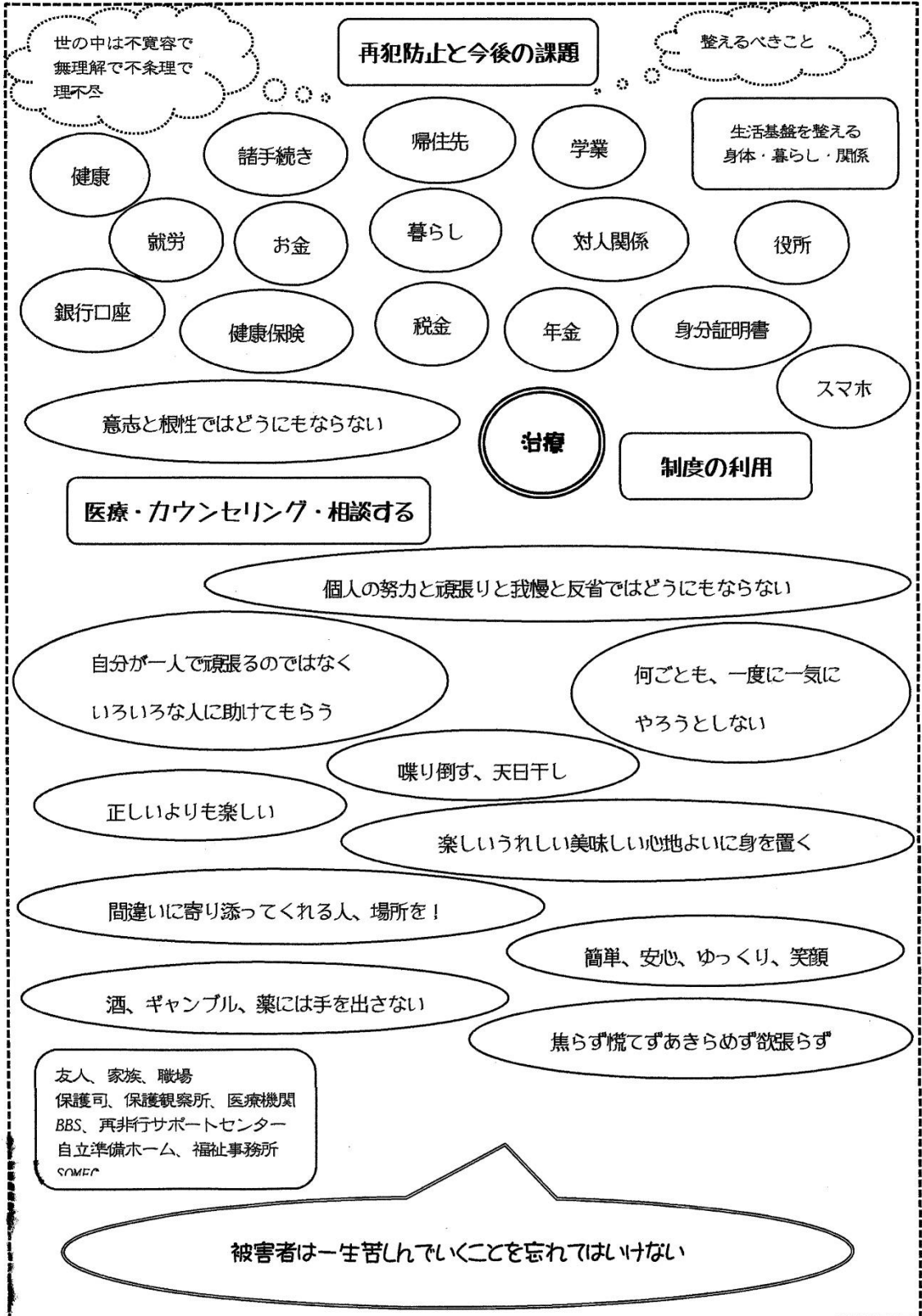
社会で生きていくということ
～大切なものを失わないために～



④ネットワーク構築-4

★開催日時
平成30年11月5日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
8名

第4回ネットワーク会議 4/6



④ネットワーク構築-4

第4回ネットワーク会議 5/6

★開催日時
平成30年11月5日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
8名

2. 家族支援セミナーの紹介村井リカート正代氏 (臨床心理士)

家族支援セミナー6つの項目のうち1. 認知のトラップの試行をしました。

図らずも”模擬家族支援セミナー”の様相を呈し、アットホームな雰囲気の中、本音で話し合いが進行しました。各参加者が発言時間を十分にとることが出来、講義になってしまいがちのところがかバーされていることが実感としてわかりました。

参加者ひとりひとりが話せる、つながれる感じを持ちやすい
参加者のみならず、進行役も楽な気持ちを持ちやすい
家族支援セミナーの有効性を改めて実感した試みでした。

④ネットワーク構築-4

第4回ネットワーク会議 6/6

★開催日時
平成30年11月5日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
8名

*リーフレット完成手渡し宣伝先について情報交換

各参加者がそれぞれ持ち帰り、配布してもらうことになりました。
行政の研修会、弁護士、医師、出口支援関係機関など

*今後の方向性

毎月第1月曜日の定期開催とします。ふるってご参加ください。
次回も座学&話し合いをします。呼びたい講師の推薦をお願いします。

叡智を集めて

一緒に取り組みましょう

性加害行為の多くには中毒性があり、再犯率も低くありません。

しかしながら日本では性障害治療は一般精神医療として認められておらず、特にここ中部地方では適切な治療や支援を行う施設がありません。そして、新たな被害者を生んでしまう悪循環が続いています。

そんな状況を打開すべく誕生したのが

『SOPHIA中部』です。

主な活動

- 性障害者のご家族への支援
- 啓発活動
- 中部地区でのネットワークによる支援

お問い合わせ・ご相談は

- お電話
 - メール
- から受付しております

●お電話でのお問い合わせ、ご相談

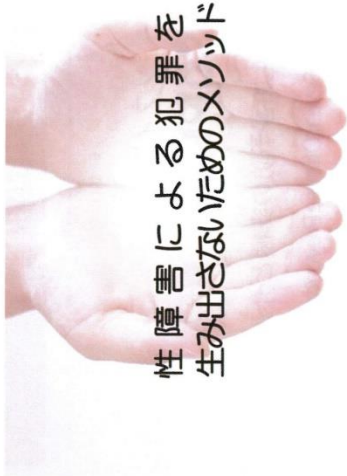
090-8137-1361
(電話受付 平日11:00~17:00)

●メールからのお問い合わせ

ezaki@chance.or.jp

●ホームページ

<https://chance.or.jp/sohipehome/sophia.html>



性障害による犯罪を生み出さないためのメンソッド

性障害者のご家族への支援

一般社団法人チャンス

SOPHIA中部



山田助成

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

SOPHIA中部とは

ソフィア
SOPHIA (叡智)
 (性加害予防の支援と介入)
 Sexual Offense Prevention
 Help & Intervention Association

性障害による犯罪を生み出さないためのメンツドを活用し
 ご家族を支援します



活動内容

●性障害者のご家族への支援
 『家族支援セミナー』
 目的：性加害の心理や再犯防止方法を学ぶ
 方法：小グループ、対面式
 回数：6回（6回分のテーマが決まっています）
 月1回開催（何月からでも開始できます）
 費用：おひとり10,800円/月（税込み）
 ★☆ピンチはチャンス!!一緒に考えましょう★☆☆

●啓発活動
 『出前講座』
 目的：性障害による犯罪を生み出さないためのメンツドの概要を知る
 対象：加害者支援者、被害者支援者、福祉関係者、児童福祉センター、学校、心理士、弁護士、警察、刑務所、少年院、保護司など
 費用：20,000円（90分）～応相談

★☆☆未然防止、再犯防止に向けての取り組みです★☆☆
 ★☆☆是非ご利用ください★☆☆

●中部地区でのネットワークによる支援
 『SOPHIA中部 ネットワーク』構築
 目的：性障害者の治療、再犯防止、家族支援をワンストップで実施する
 現況：性障害者治療...臨床心理士、家族支援...小児科医師、公認心理師（臨床心理士）、精神保健福祉士（認定心理士）
 生活支援...自立援助ホーム、就労継続支援B型事業所
 地域支援...医師、社会福祉士、アドボケイト

★☆☆目的達成のためには多様な取り組みが必要です★☆☆
 ★☆☆あなたのお力を、是非お貸しください!!★☆☆

家族支援セミナーとは

『家族支援セミナー』は、法に触れるような性癖をお持ちの方や、実際に性犯罪を犯してしまった方のご家族・配偶者のためのサポートグループです。
 ご本人に問題意識が低い場合も多く、ご家族にとっては大変悩ましい問題です。

さらに、ご家族が必要とするサポートが得られず孤立に追い込まれることも起きています。そのようなご家族のために、同様の状況にあるご家族が集まり、専門家から適切な情報を得る場を提供します。

ご家族とともに考える支援は、再犯防止のための大きな助けとなります。

『家族支援セミナー』を活用して性加害行為のない社会を実現しましょう。

●『家族支援セミナー』の内容

6つのテーマ

- ・性犯罪行為者の心理的特徴（認知のトラップ）
- ・家族支援セッション-家族の絆、文化
- ・愛情・求愛のメカニズム
- ・再発防止モデル
- ・グッドライフズモデル
- ・コミュニケーションと条件付け

担当者：SOMEC主宰の家族支援セミナー
 トレーニング修了者

第5回ネットワーク会議 1/2

★開催日時
平成30年12月3日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
7名

座学

1. 性依存症支援の現場から高坂朝人氏 (再非行防止サポートセンター愛知代表)

私が、非行から立ち直りを果たし、大切な人と今、心から笑い合い幸せな日々を送ることができているのは、僕を信じて涙を流してくれた調査官、再非行を繰り返していたのにいつも笑顔で受け入れてくれた保護司、夢を語り合ってくれた法務教官、スキーに連れて行ってくれた警察官、立ち直りの決意を決めたけど震えていた私を支えてくれた弁護士、自分の命を削りながら私に分け与えてきてくれた家族など、さまざまな人のおかげです。一人では立ち直ることはできませんでした。

(再非行防止サポートセンター愛知設立趣旨から抜粋)

実際の活動内容を目の当たりにできるお話をいただき、参加者一同感銘を受けました。ここまで活動しておられる方がある！！

私たちもできることからやらねば！との思いを強くしました

2月にまた座学をお願いしました。

④ネットワーク構築-5

第5回ネットワーク会議 2/2

★開催日時
平成30年12月3日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
7名

2. 家族支援セミナーの紹介泊氏 (社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士)

家族支援セミナー6つの項目のうち2. 家族内の絆、文化の試行をしました。
ジェノグラムを書いてもらい、話し合いに入りました。

家族が変われば当事者が変わる

目的は自己理解である
そこから家族理解になっていく、さらに自分の力を知る

当事者には力があり、それを引き出すようにして、社会に戻していく
家族のスタイルは多様であり、セミナーの中で何を伝えるのが課題である

第6回ネットワーク会議 1/2

★開催日時
平成31年1月7日 18:00～20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
7名

座学

1. 家族支援セミナーの紹介村井リカート正代氏 (臨床心理士)

家族支援セミナー6つの項目のうちグッドライブズモデル (GLM) の試行をしました。

性被害者からの、支援者からの批判、複雑な思いはあるが
どうしても伝えたい内容は
グッドライブズモデル (GLM)

《会議風景》



④ネットワーク構築-6

第6回ネットワーク会議 2/2

★開催日時
平成31年1月7日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
7名

2. 家族支援セミナーの紹介 泊氏

(社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士)

家族支援セミナー6つの項目のうち再発防止モデルの試行をしました。

- ・ハイリスクシチュエーションのときにどうする。
- ・AAにおいては…支援者、連絡するスポンサーに電話をかける⇒スリップを防ぐ
- ・性加害者においては…家族が支援者となる⇒防止につながる
- ・HALTを知り緩和する方向で対応する
- ・家族セミナーの効果としては
 - ①家族の不安が軽減している←表情が明るくなる
 - ②本人が、家族からの束縛が減ってきたことを実感する
 - ③家族の孤立感が減るひとりではないことを感じる
 - ④再犯が起きた時のレスポンスが違う
- ・心の準備が出来ている
- ・対応法がわかっている
- ・治療継続が必要なことがわかっている

v s .

家族セミナーを受けていないと

- ・本人への叱責
- ・治療をやめてしまい、家に閉じ込めてしまう

↓

本人の予後が違ってくる

第7回ネットワーク会議 1/2

★開催日時
平成31年2月4日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
7名

座学

1. 性依存症支援の現場から高坂朝人氏 (再非行防止サポートセンター愛知代表)

支援の実際において

- ・ 在院中からのかかわりをしていくことが、その後の更生への意欲につながる
- ・ 一緒にご飯を食べようという約束のもと、実行していく
- ・ 社会との暖かいつながりをつくっておくことが必要である
- ・ ほとんど何も知らない状態で出院するよりも家族も弁護士、福祉士などと顔合わせをしておくことも必要
- ・ 精神科を受診し、病名がわかる人もいる
 - 福祉につなげることが出来る
 - ゆっくりと回復していくことが可能になる

④ネットワーク構築-7

第7回ネットワーク会議 2/2

★開催日時
平成31年2月4日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
7名

2. 家族支援セミナーの紹介 村井リカート正代氏 (臨床心理士)、 家族支援セミナーの紹介 泊氏 (社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士)

家族支援セミナー6つの項目のうち愛着・求愛のメカニズム、グッドライブズ・モデルの試行をしました。

- ・ストレスがかかった時、対人関係においてどのように行動するか？
- ・家族としてできることは何か？
- ・自分の人生の中で特に大切に考えていることは何か？

参加者から：

- ・今後の処遇に活かせる方法、情報等が学べ、かつ連携のお話まで出て胸が高鳴る思い。
- ・性非行防止の指導において、薬物犯罪等の社会の受け皿としてダルク等があるにもかかわらず、性非行者には社会の受け皿がなくもどかしさを感じていた。可能性を感じる。
- ・在院中に家族支援者として話し合いに参加し顔合わせをしておくと、社会とのきずなが出来て再犯防止に効果的と思われる。

第8回ネットワーク会議

★開催日時
平成31年3月4日 18:00~20:00
★開催場所
名古屋市中区丸の内3-7-9
★参加者
7名

座学

1. Thrive代表 涌井氏
自分自身の人生設計がめちゃくちゃに壊されてしまった被害者の立場から、それでも加害者の更生に向けての支援が必要であるとの力強いメッセージを頂きました。
2. 三重ダルク代表 市川氏
薬物から脱した後、仲間の大切さ、自分の思い描く生き方を求め続ける事の大切さをお話頂きました。
3. 瀬戸少年院 沼田氏
現況と今後の連携についてお話頂きました。
4. リーフレット作成にあたって
連携団体の募集をお願いしました。
5. 次年度の取り組みについて
☆家族支援セミナー開催に向けてSOPHIA中部の活動支援をお願いしました。
☆連携団体の紹介をお願いしました。

SOPHIA中部の発足

設立背景

性暴力行為の多くには中毒性があり、再犯率も低くない。しかしながら日本では性障害治療は一般精神医療として認められておらず、特にここ中部地方では適切な治療や支援を行う施設がない状況下に置かれています。

そしてそれが、新たな被害者を生んでしまうという悪循環が続いている源であると考えられます。

そんな状況を打開すべく『SOPHIA中部』を発足させました。

目的

- 性障害による犯罪を生み出さないための
メソッドを活用し性障害者のご家族を支援します
- 性暴力の被害者も加害者もない安心安全な
共生社会の実現を目指します

SOPHIA（叡智）（Sexual Offense Prevention Help & Intervention Association）
【性加害予防の支援と介入】

⑤SOMEc主催の家族支援セミナートレーニング受講

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

2018/9/18・2018/9/24・2018/9/25の3日間
SOMEc主催の家族支援セミナートレーニング受講

9/18/18

家族支援セミナー トレーニング

NPO法人 性犯罪被害者の処遇制度を考える会
性被害専門医療センター(SOMEc)

家族支援セミナーとは？

- 目的
 - ・「孤立状態の家族へのグループによる心理的サポート」
 - ・「性加害行動の理解、再発防止に向けた対応方法の構築」
- メソッド
 - ・共感的に傾聴しつつ、心理教育
- 効果
 - ・グループ療法的基本的効果：孤立感の軽減、ピアからの情報の聞き取りやすさ
 - ・家族の安定化
 - ・性加害行為者に対する協力、家庭環境へやんわり介入
- 守備範囲
 - ・職務と限界をきっちり説明しておく

1


9/18/18

3日間のトレーニングの目標

- ・性加害者家族の心理の基本的内容を知る。
- ・性加害者の行為のメカニズムの基本を知る。
- ・参加者用のハンドアウトの概要を理解する。
- ・「家族からのFAQ」への回答を想定できるようになる。
- ・参加者と対話しながら心理教育をするように目指す。

家族支援セミナーの内容

- ・6つのテーマ
 - ・犯罪行為者の心理的特徴(認知の歪み)
 - ・家族支援セッション-家族内の絆、文化
 - ・愛情・求愛のメカニズム
 - ・再発防止モデル
 - ・グッドライブモデル
 - ・コミュニケーションと条件付け



2



活動報告

ひとひとの可能性を伸ばすための 家族応援セミナー(全6回シリーズ)

テキスト:ひとひと心育てる メル・レヴィン著

子どもの自尊感情をはぐくみ充実感のある子育てを楽しむために
子どもが学校に適應できないで困っているときに
具体的な対処方法を考えていきましょう

★対象者:発達障がいのある小学生以上の子どもの保護者

★開催日時:H31年1月19日(土)14時~16時

2月23日(土)14時~16時

3月30日(土)14時~16時

4月以降は追ってお知らせします。

どこから参加されても大丈夫なデザインになっています。



★場所:子どもの広場今池

★担当者:江崎路子(小児科医師)

土屋由美(臨床心理士)

★タイムスケジュール:保護者、子ども別室にて同時進行

	家族応援セミナー	本の読み聞かせ
対象	保護者	子ども
時間	14時~16時	14時~16時
部屋	療育室	保護者と別室にて
担当者	江崎路子、土屋由美	川本加代子、長江美森、川本紀子

★参加費用:子ども…受給者証1日利用となります

保護者…相談支援加算となります

★要予約:定員5名



おとな子どもも自分自身の欠陥について知ると
なぜか安心する。なぜなら、生まれて初めて、自分が学校や上司などの要求に
対応できずに苦しんでいた理由と、その問題を克服するにはどうすればよいか
がわかるからだ…(テキストより抜粋)